

高等学校の学科改編について

高校教育課

1 学科改編について

県立高等学校においては、平成30年9月に策定した「高校改革～夢に挑戦する学び～実施方針」により、「新たな教育の推進」と「新たな学校づくり」に一体的に取り組んでいる。こうした改革の状況を踏まえ、また、各校の教育課題に対応した探究的な学びをさらに推進するため、要望のあった下記の3校について、長野県立高等学校管理規則第2条に定める学科の改編を行う。

2 実施時期

令和4年4月1日

3 改編内容

(1) 改編対象

① 下高井農林高等学校 全日制

改編前		改編後	
大学科名	小学科名	大学科名	小学科名
農業科	アグリサービス科	農業科	地域創造農学科
	グリーンデザイン科		

② 飯田OIDE長姫高等学校 定時制

改編前		改編後	
大学科名	小学科名	大学科名	小学科名
普通科	普通科	普通科	普通科
工業科	基礎工学科		

③ 池田工業高等学校 全日制

改編前		改編後	
大学科名	小学科名	大学科名	小学科名
工業科	機械科	工業科	機械・電気学科
	電気・情報システム科		
	建築科		建築学科

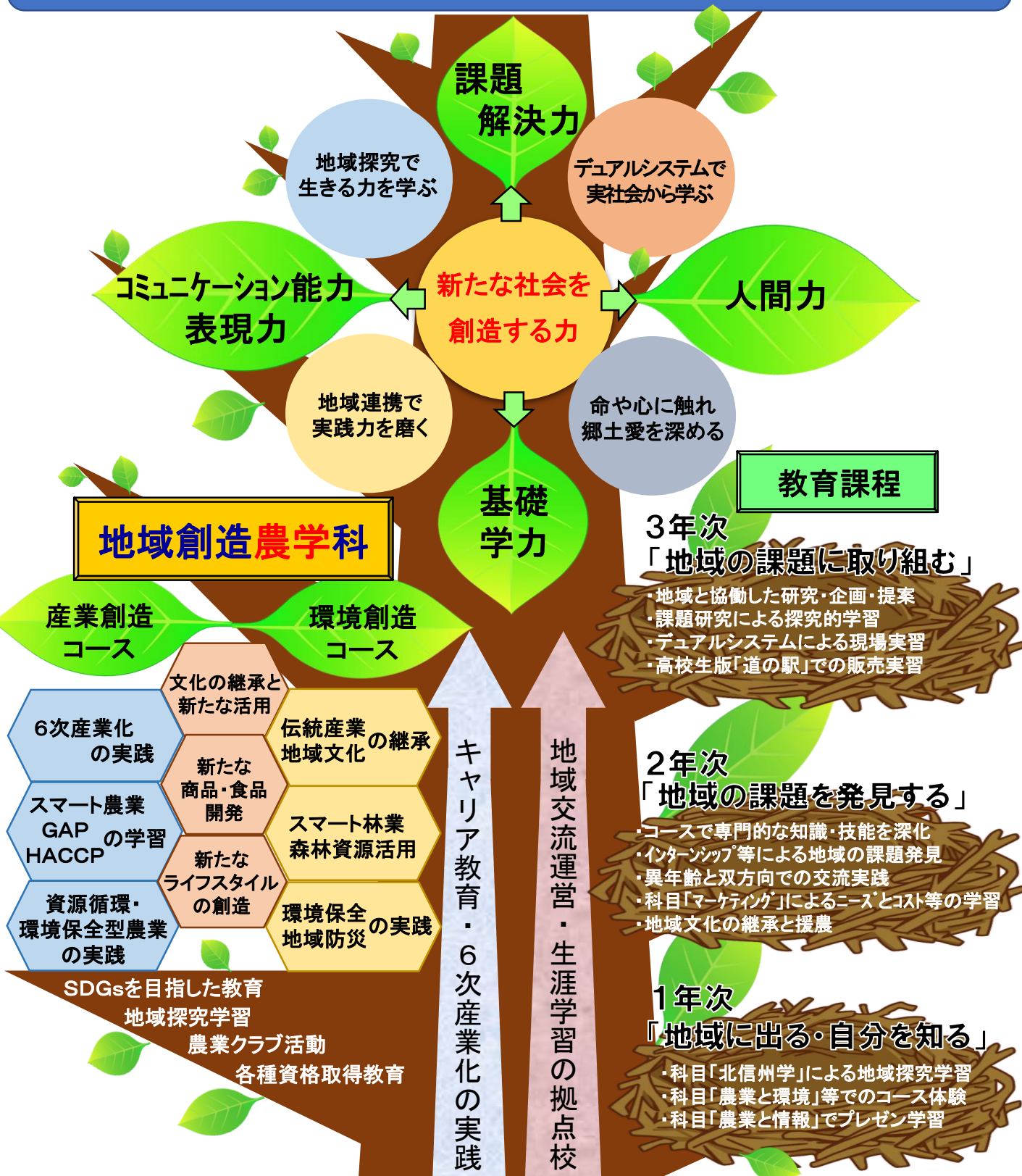
(2) 新学科の概要

①下高井農林高等学校 全日制

学校名	新学科名	新学科の概要
下高井農林	地域創造農学科	<p>1 改編理由</p> <p>同校では、北信州の農林業を担う人材の育成を目指し「アグリサービス科」、「グリーンデザイン科」の2学科8コースを設置し、「アグリサービス科」では、安心安全な食料供給等の学びを、「グリーンデザイン科」では、地域資源の有効活用等の学びを進めている。また、各コースで地域との交流活動を通してコミュニケーション力を高めながら地域で活躍するスペシャリストを養成し地元の発展に貢献してきた。</p> <p>しかしながら、産業構造の変化に伴う農業と林業の垣根を越えた学びが求められる中、現在の2学科8コースに細分化された学びは、地域との連携を深める上でも、これからの農林業を担う人材に求められる能力を育成する上でも課題となっている。</p> <p>このような状況下、令和2年1月の「岳北地域の高校の将来像を考える協議会」からも地域産業との連携や幼保小中高を通じた地域を支える人材育成の役割を踏まえた教育の充実、持続可能な新たな農林業に対応できる人材育成を可能とするカリキュラムの再編等の要望が挙がっている。</p> <p>これらを踏まえ同校は、現行の2学科を、横断的、総合的に一体感を持って学ぶことのできる「地域創造農学科」に改編し、「農」を柱とした先端的な学びを柔軟に学べるようにするとともに、地元行政機関、関連産業及び団体等との連携を強化することで農林業を主とする地域産業全般への理解を深め、将来北信州の産業振興と持続的発展を支えるリーダーの育成を目指すこととした。</p> <p>2 学科の内容</p> <p>(1) 学科の目標</p> <p>農林業及び環境への理解、農作物の栽培管理や地域文化の継承を基礎に、地域の方々と協働して北信州の豊かな資源を最大限に活用した探究的な学びを展開し、地域に活力を与え、北信州の産業振興と持続的発展を支えるリーダーの育成を目指し、2年次からコース制を導入する。</p> <p>①「産業創造コース」</p> <p>農産物の生産からマーケティング・流通・販売に至るまでの経営と管理を総合的に学習し、6次産業化を実践するための知識と技術を習得する。持続的・効果的に地域資源を活用できる経営感覚を身に付け、地域産業の発展と活性化に貢献できる人材を育成する。</p> <p>②「環境創造コース」</p> <p>地域に暮らす人々との交流を通じ、持続可能な地域社会を目指し、身近な地域資源を活用した環境デザイン・森林の活用と保全・資源循環・地域防災・地域文化の継承等を実践で</p>

		<p>きる知識と技術を習得する。地域の課題解決に積極的に参画し、地域振興に貢献する感覚を身に付け、地域環境を創造できる人材を育成する。</p> <p>(2) 学科の特徴</p> <p>①キャリア教育と6次産業化に向けた地域連携による学びの実践</p> <p>キャリア教育と6次産業化に関する主体的な学びを確立するため、各年次にその中心となる科目を設定し、地域の方々と協働した地域探究を展開する中で、経営感覚を身に付け、地域産業の発展と活性化、地域環境の創造に寄与する力の習得を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年次は、学校設定科目「北信州学」において、地域の環境・文化・産業に関するキャリア等の探究に取り組み、地域の魅力と自分を知る。 ・2年次は、コースでの専門的な知識・技能の習得とインターンシップ等により、地域の課題を見つける。また、商業科目の「マーケティング」により、6次産業化に向けた実践的な知識を習得する。 ・3年次は、専門科目の「課題研究」等において、デュアルシステムによる農家及び関連企業での現場実習や高校生版「道の駅」での販売実習等に取り組み、ローカルブランドの確立と情報発信、伝統産業や文化の継承、及び地域の活性化に向けた多面的な職業能力を養う。 <p>②生涯学習の拠点としてのコミュニティ『農林』の確立</p> <p>地域社会を担う深い郷土愛を持った人を育てるため、「地域連携推進連絡会」の支援・協力のもと、以下のような地域を学びのフィールドとした交流活動を通して、生徒の人間関係力の育成を図るとともに、生涯学習の拠点として、持続可能な地域社会を担うネットワークの構築に寄与する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栽培、加工、ものづくり等に関する学校開放講座の主体的な運営により、地域の魅力を再発見し、人間力、表現力、プレゼン力の向上を図る。 ・異年齢の方々との交流活動、産学官連携による「道の駅」等での各種イベントの企画・運営、行政や地元中学校と連携した地域活性化プロジェクト等の実践により、地域交流を推進する上での社会的信頼を高める手法を習得する。 <p>③スマート農林業の実践</p> <p>熟練農業者の持つ経験や勘に頼ることなく、科学的根拠に基づいた後継者の育成を図るため、ドローンや環境制御施設等を活用し、「省力化や高品質生産の実現」「誰もが取り組める農林業の実現」「消費者・実需者への安心と信頼の提供」等を可能にするスマート農林業を積極的に学び、農林業の技術革新や活性化に貢献できる力を養う。</p> <p>④多様な資格取得・SDGsの達成に向けた教育の実践</p> <p>即戦力として地域に必要とされる多様な資格取得、豊かな地域社会を創造するためのSDGsを目指した教育の推進、農林業分野における汎用的・多面的な学びの深化を図り、生徒の進路実現を図る。</p>
--	--	--

北信州の未来を創造する



学びを支える地域連携基盤

地域連携推進連絡会（仮称）

- 【官】 近隣市村、県農政部、林務部、地域振興局、農業農村支援センター
- 【産】 経営者協会、農業法人協会、森林組合、商工会
- 【学】 農業大学校、林業大学校、大学 他

保護者（PTA）

同窓会

②飯田OIDE長姫高等学校 定時制

学校名	新学科名	新学科の概要
飯田OIDE長姫	普通科	<p>1 改編理由</p> <p>同校定時制は、旧飯田長姫高校定時制と旧飯田工業高校定時制を起源とする。飯田長姫高校定時制は、昭和 23 年に飯田実業高校定時制商業科として開校し幾多の変遷を経て平成 13 年に普通科 2 クラスとなる。また、昭和 36 年には飯田工業高校定時制機械科が開設された。平成 25 年の両校の統合により、定時制を現在の普通科 1 クラスと基礎工学科 1 クラスに改編した。本校定時制は長らく地元産業界に貢献し、地域の定時制高校として一定の評価を得てきた。しかし近年は基礎工学科への志願者は減少傾向にあり、多様な生活歴、学習歴のある入学者が増加し、定時制の専門学科へのニーズが変化してきた。また、令和 2 年 1 月に「南信州地域の高校の将来像を考える協議会」より意見・提案書が提出され、「多部制・単位制の要素を取り込んだ柔軟な学びのシステムの構築」、「地域人教育の定時制への導入」が意見提案された。このような定時制教育に関する地域の要望と同校の現状と課題を踏まえて、基礎工学科 1 クラスを、普通科に改編し、生徒一人ひとりの興味・関心、多様な進路希望に対応した弾力的な教育課程の展開が可能となる新たな定時制教育を行う学校づくりをすることとした。</p> <p>2 学科の内容</p> <p>(1) 学科の目標</p> <p>① 普通科目をじっくりと基礎から学び、多様なライフスタイルに対応した教育課程により、社会人としてふさわしい教養を身につけた生徒の育成を目指す。</p> <p>② 定時制版「地域人教育」をはじめとした開かれた学びの中で、自らを律し他者と協調・協働して行動することにより主体性や社会性を身に付け、社会に貢献できる資質の育成を目指す。</p> <p>(2) 学科の特徴</p> <p>① 普通科科目の学びの充実 生徒の多様なライフスタイルにあわせた科目選択が可能により汎用性の高い科目を設置する。</p> <p>② 基礎学力の定着 個に応じた学力の伸長を目途とした、小中学校の学び直しのための学校設定科目「ベーシック」を開設し、ICTを活用して英、数、国を中心に基礎的な学習を行う。</p> <p>③ 専門科目の設定 総合技術高校の既存施設を有効活用し、興味関心に応じて専門科目を系統的、実践的に提供する教育課程を編成する。</p> <p>④ 単位制への転換 自分のペースに応じた無理のない学習を可能にする単位制を導入する。さらに、松本筑摩高校通信制との定通併修により、同校を会場としたスクーリングも単位認定に含め、多様なニーズに対応する学びの仕組みを導入する。</p> <p>⑤ 柔軟な時間割の設定 夜間の 4 時間の授業に加え、午後の時間帯に 2 時間の特設授業を開設して、イブニングコース・ナイトコース（仮称）等による幅広い時間帯での学びを可能とし、3 年間での卒業を可能にする三修制も導入する。</p>



NEW 飯田OIDE長姫高校定時制 <単位制・普通科>

- 普通科科目や専門科目等の幅広い学びを可能にするため基礎工学科を普通科へ改編
- 生徒の多様なニーズに対応する多部制・単位制の要素を取り込んだ新たな仕組みの導入
- 南信州地域の歴史や文化を学び地域と連携したキャリア教育等により自己の可能性を伸長
- 地元産業界等のニーズに対応する社会性や主体性を身に付けた人材の育成

【飯田OIDE長姫高校定時制がめざす生徒像】

★社会人としてふさわしい
教養を身に付けることができる生徒

★相手を思いやり、共に生きる
力を身につけ協調・協働して
社会的行動ができる生徒

★自らを律し、社会のルール
に従って行動できる生徒

【柔軟な学びに対応する単位制の導入】

- 必要な単位を選択履修し、74単位以上修得⇒3年間での卒業が可能
- 自分の生活のペースやスタイルに合わせた柔軟な学び方が可能

【生徒の多様性にきめ細かく対応した能力開発の推進】

- ① 普通・専門科目から卒業に必要な単位を自由に選択
- ② イブニングコース・ナイトコース(仮称)によるフレキシブルな時間割設定
- ③ ICTを活用した基礎学力向上講座「ベーシック」の開講
- ④ 将来を見据えた社会性を身につける定時制版「地域人教育」の推進
- ⑤ 3年間での卒業も可能な「三修制」の導入
- ⑥ 技能審査・ボランティア・定通併修等による柔軟な単位の認定



新たなニーズに応えるスタイルへ転換

より学びやすく

基礎工学科→普通科に学科改編

より開かれた

地元の南信州地域と連携・協働した学びを充実

より深い学びへ

ICTを活用した個別最適な学びによる基礎学力の向上

より自由に選びやすく

より柔軟な学び方が可能な単位制へ転換

【これまでの飯田OIDE長姫高校定時制】

普通科

～豊かな教養と社会性を養う～

工業科

～モノづくりの基礎と社会性を養う～

③池田工業高校 全日制

学校名	新学科名	新学科の概要
池田工業	機械・電気学科 建築学科	<p>1 改編理由</p> <p>人と機械が複雑かつ高度に関係しあう社会が急速に進展していく中、技術革新を進める地域の製造業においては製造過程のIT化により、分野にとられない技術者が求められている。また、同校にはこの地区唯一の専門高校として、地域から郷学郷就への大きな期待が寄せられている。</p> <p>一方、旧第12通学区における少子化への対応や、普通科と職業科の募集定員のバランス等の検討が必要となっている。</p> <p>このような状況を踏まえ、地域のものづくりの分野に貢献できる汎用的、多面的な能力を持った人材を育成するために、関連の深い機械・電気両分野を横断的、融合的に学ぶことができるよう「機械科」と「電気・情報システム科」を統合して「機械・電気学科」に改編する。同時に、「建築科」はこれまでの建築の学びを発展させ、理論的・実践的な教育を行う「建築学科」に改編する。</p> <p>2 学科の内容</p> <p>(1) 学科の目標</p> <p>① 機械・電気学科</p> <p>製造業で求められる機械・電気・情報分野の幅広い技術・技能の基礎的・基本的な実践力とものづくりの精神を有し、複合的な製造分野の将来を支え、活躍できる人材の育成を目指す。</p> <p>② 建築学科</p> <p>建築に関する従来の基礎的な知識や技能と先端ITを活用した建築生産を理論的・実践的に学び、設計や施工に従事する技術者の育成を目指す。</p> <p>(2) 学科の特徴</p> <p>① 「くくり募集」</p> <p>「くくり募集」を行い、工業科として入学した1年生は「総合的な探究の時間」と工業の基礎知識を幅広く学ぶ「工業技術基礎」「工業情報数理」を履修する。これは生徒が適切な学科選択と工業を学ぶ意義を見いだすことと工業の基礎知識を学ぶことを目的とする。「総合的な探究の時間」では全員が地元企業に就業体験を行い、働くことや自己の目標について課題を見つけ、これから進める探究学習の基礎とする。1年後半で学科選択を行い各学科の基礎を学ぶ。</p> <p>② 機械・電気学科</p> <p>新学科では既存の「機械科」と「電気・情報システム科」の学びを継続し、「機械専攻」と「電気情報専攻」として選択する。それぞれの専門性を維持しながら、生徒個々の目標に応じて基礎的、横断的に学ぶ科目として「工業情報数理」「機械・電気実習」「課題研究」を履修する。また、「電気情報専攻」はさらに「電</p>

		<p>気コース」と「情報コース」に分かれ、「電気コース」は「電気機器」及び「電力技術」を選択し、「情報コース」は「プログラミング技術」を選択する。また、第三種電気主任技術者など、各分野の専門的な学びを生かした資格取得をより一層推進する教育体制を構築する。</p> <p>③ 建築学科</p> <p>現在の建設業は、設計、施工管理技術、技能の分野に大別される。建築士や施工管理技士の受験資格を得られる科目を共通して履修する。2年後半から、個々の進路希望に応じて「技術系」と「技能系」を選択し、それぞれの内容の実習と製図を学ぶ。</p> <p>④ 探究活動</p> <p>変化する社会の中で、主体的に活用できる生きた技術を育む「5つの探究活動」を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域を学びのフィールドとする、産業や職業を探る「総合的な探究の時間」 ・プロの現場で知識と技を研く「池工版デュアルシステム」 ・新しい技術を学び、社会の問題解決に取り組む「高大連携探究」 ・校内連携を強化し、工業の広い視点から生きた学びをする「校内実践探究」 ・匠から高度な技を授かり、生かす「課外探究」
--	--	--



池田工業高等学校

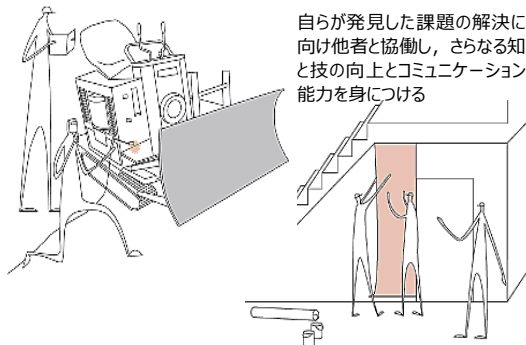
想像は創造に変わる “新しい工業の学び”

- ◎育てたい人間像
- 根気強く「学び・考え・努力」できる、実践力と創造力に富んだ人。
 - 生涯にわたって、自らの力と協働により問題を解決できる人。
 - 他者を尊重できる人間性と社会に貢献する志をもった人。

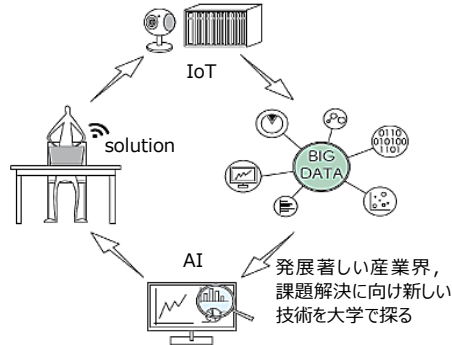
◎変化する社会の中で、主体的に活用できる生きた技術を育む「5つの探究活動」

- 1 地域を学びのフィールドとする、産業や職業を探る「総合的な探究の時間」
- 2 プロの現場で知識と技を研く「池工版デュアルシステム」
- 3 新しい技術を学び、社会の問題解決に取り組む「高大連携探究」
- 4 校内連携を強化し、工業の広い視点から生きた学びをする「校内実践探究」
- 5 匠から高度な技を授かり、生かす「課外探究」

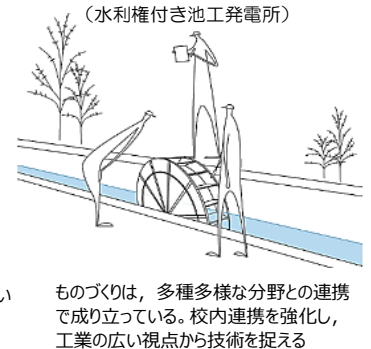
○プロと仲間と協働し、技を研く



○新たな技術への挑戦



○生きた学び



◎ 多角的な知識を相互に関連づけたキャリアを育む学びの概要 ※学科，専攻は仮称

くくり募集

1 年	分野にとられない横断的な学び	【幅広く地域の産業や職業を探り、学びたい分野を選び出す】		
		○「総合的な探究の時間」の活動をとおしてふりかえり、進路を考える。		
		○機械，電気・情報，建築の実習を体験し，学科・専攻を選択する。		
2 年		機械・電気 学科	建築 学科	
		機械 専攻	電気情報 専攻	建築 専攻
			電気コース 情報コース	
3 年		【専門性の基礎を固め、職業人の素地をつくる】		
		○教室での学びと実習・実験で「確かな基礎技術」を身につける。		
		○現場を訪ねてプロの精神に触れ、働く姿勢や学びの価値を考える。		
		【深く考え、深く学び、「知と技」の発展的活用を図る】		
		○実践的で探究的な活動をとおして、創造力を研ぎ実践力を身につける。		
		○学校と地域で協働し、専門性の高い知識と技術・技能を身につける。		
		※電気コース 第三種電気主任技術者 (卒業後一定の実務経験で資格取得)		※二級建築士受験資格 認定 ※二級建築施工管理技士 (2次検定受検に要す実務経験年数短縮)